

札幌第一2カ月ぶり練習再開

自粛期間中「野球脳」トレ

7・18支部大会開幕夏の独自大会へ全力宣言
 春夏計6度甲子園出場 月ぶりに練習を再開し 授業だが、1カ月後の7
 の札幌第一が18日、2カ月ぶり。今月中はオンライン 月18日に札幌支部大会が

開幕する夏の独自大会に
 向けて学校が配慮した。
 打撃練習で柵越えを放
 ち、ブルペンで立ち投げ
 で30球を投げたエースの
 山田翔太主将(3年)は
 「早く練習したかった。
 グラウンドは気持ちいい
 」と笑った。

菊池監督(右)の話を聞く札幌第一ナイン ①再開初日の打撃練習で柵越えを放った山田主将(左)



山田主将「グラウンドは気持ちいい」

自粛期間中はリレー形
 式でのトレーニング動
 画、野球ノートなどオン
 ラインでつながってき
 た。中には実戦問題集か
 ら1問を選び、理由と自
 己の経験も踏まえて説明
 する課題も。山田主将は
 バスターでヒットを打た
 れた昨夏の経験から「バ
 ント処理」に取り組むな
 ど「野球脳」も鍛えた。
 菊池雄人監督(47)は
 「今は活動ができるのが
 当たり前ではない。配慮
 がありがたい」と言う。
 初戦敗退した昨春センバ
 ツの雪辱を晴らす舞台は
 なくなったが、昨春メン
 バーの山田主将は決意を
 口にする。「やるからに
 は、負けたら意味がな
 い」。不変のモチベーシ
 ョンで、開幕までの1カ
 月を駆け抜ける。
 (竹内 敦子)